

【燃費ナビ】 近似 Q 値・C 値用床面積について

文書管理番号：1014-02

Q. 質問

建もの燃費ナビの操作で、仕様入力 Step1 基本情報にある「近似 Q 値・C 値用床面積(仮想床面積)」とは何か？

A. 回答

5 (仕様入力) Step1 基本設定の「近似 Q 値・C 値用床面積(仮想床面積)」は 6 (PHPP) を実行して表示される「建もの燃費 計算結果」の「Q 値、Ua 値」の計算に利用されます。

「近似 Q 値・C 値用床面積(仮想床面積)」は天井高 2.1m を超える範囲の床面積（壁芯基準）が対象になり、吹き抜けや階段なども仮想床として含めます。

基本的には入力済みの CAD データ（プラン図、屋根伏図、高さ設定）から自動計算されますが、CAD 入力の状態によっては「CAD 数量」の補正が必要な場合があります。CAD 数量を確認し、必要に応じて「加算」・「減算」に値を入力し補正してください。



Step1 基本設定

「近似 Q 値・C 値用床面積(仮想床面積)」

数量補正				
プラン情報取込	CAD数量	加算	減算	計
内法気積[m3]	455.613	+		= 455.613
近似Q値・C値用床面積(仮想床面積)[m2]	164.585	+	3.904	= 160.681

- * プラン図で間取りを変更した場合、「プラン情報取込」をクリックすることで、情報が更新できます。

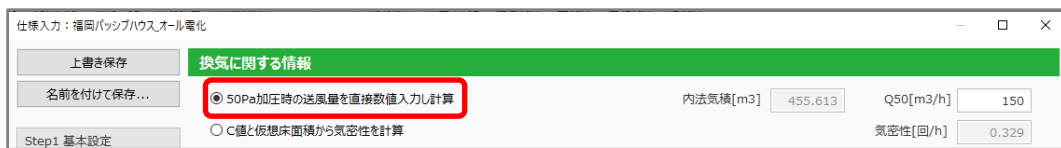
● Step7 換気 「C 値と仮想床面積から気密性を計算」の「仮想床面積」

「換気に関する情報」で「C 値と仮想床面積から気密性を計算」を選択した場合、「仮想床面積」に Step1 基本設定の「近似 Q 値・C 値用床面積（仮想床面積）」が自動表示されます。ここでは値を直接編集できません。値が異なる場合は Step 1 基本設定で数量補正を行ってください。



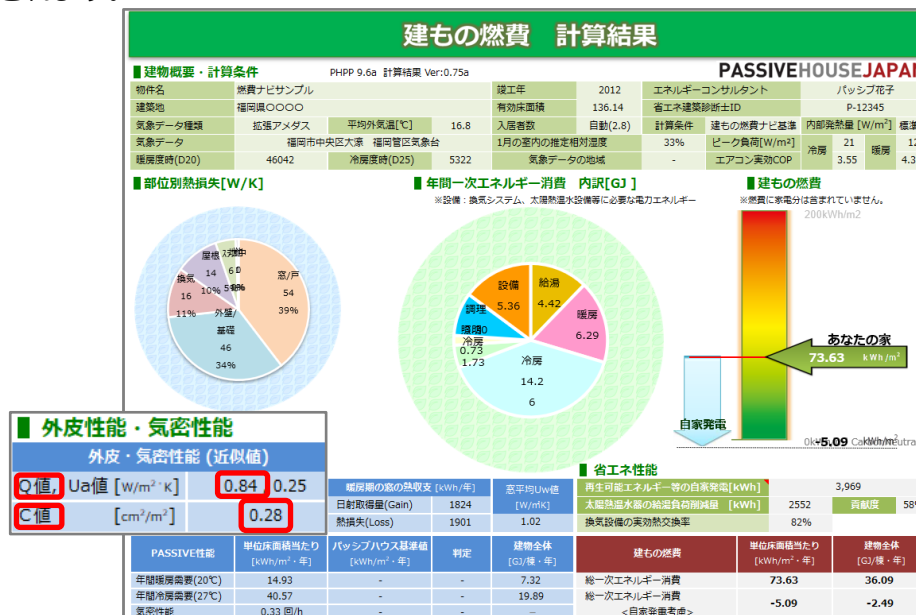
【参考】「50Pa 加圧時の送風量を直接数値入力し計算」を選択した場合

パッシブハウス認定では「50Pa 加圧時の送風量を直接数値入力し計算」を利用して、気密性能を評価します。50Pa 加圧時の送風量を「Q50[m3/h]」に入力すると、「気密性[回/h]」が自動計算されます。また、PHPP出力後、計算結果シートで日本基準である「C 値」に換算します。この場合に Step1 基本設定の「近似 Q 値・C 値用床面積（仮想床面積）」が利用されます。



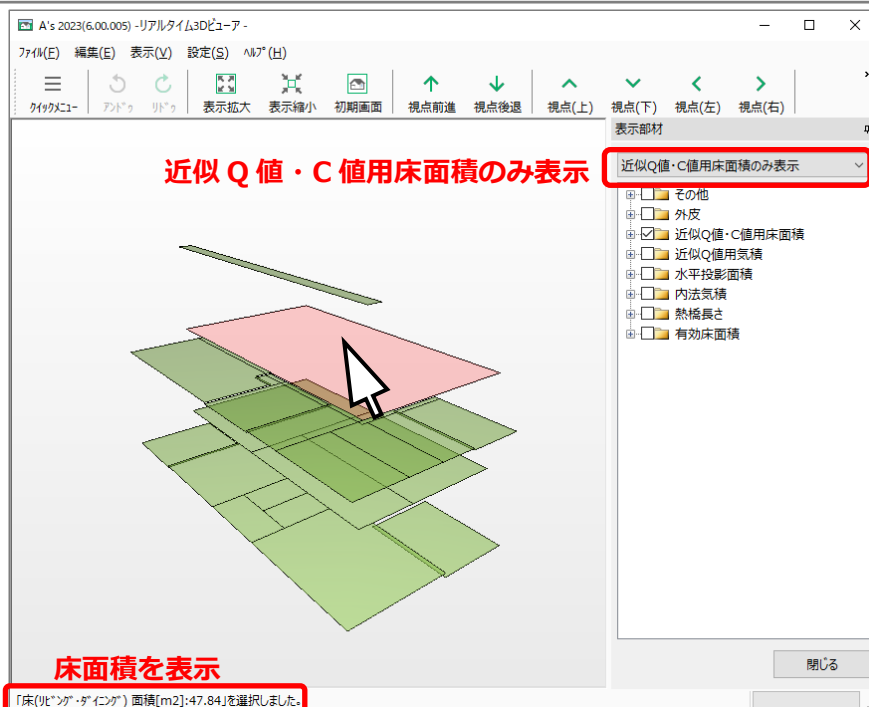
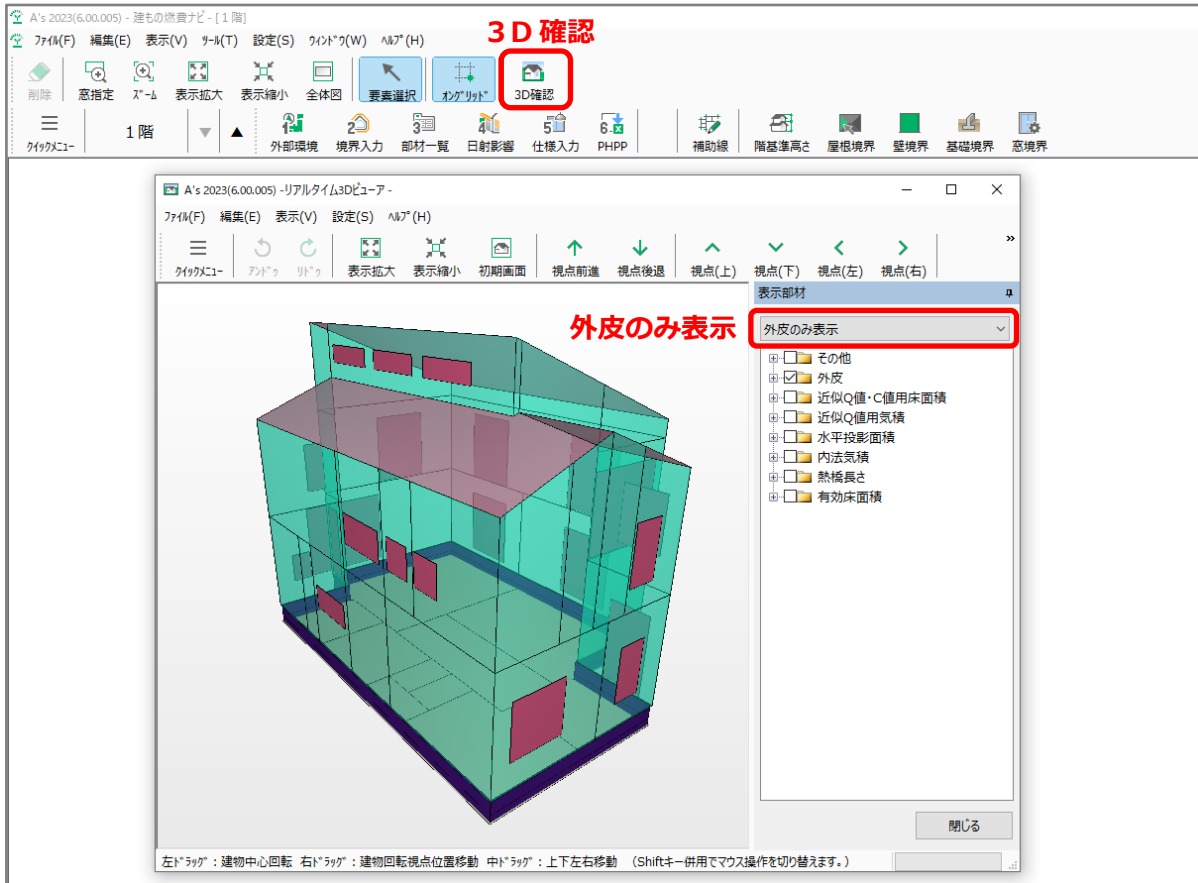
● 計算結果シートの外皮・気密性能（近似値）「Q 値」「C 値」

外皮・気密性能(近似値)の「Q 値」「C 値」を求める場合、近似 Q 値・C 値用床面積(仮想床面積)が使用されます。



● 3D 確認

「近似 Q 値・C 値用床面積(仮想床面積)」は、表示部材から切り替えることで確認できます。初期設定は「外皮のみ表示」ですが、上部の欄をクリックして表示されるリストから「近似 Q 値・C 値用床面積(仮想床面積)のみ表示」を選択して切り替えます。チェックボックスの ON/OFF で切り替えてもかまいません。



* 各床面積をクリックすると面積が表示されます。